

研究開発だより Vol.7

「光輝(かがやき)視点の保育」・新領域「光輝(かがやき)」についてお届けいたします!

保護者アンケートから分かる、 「光輝(かがやき)視点の保育」 新領域「光輝(かがやき)」

いつも本学校園の教育活動にご理解・ご協力いただきありがとうございます。各校園種での子どもたちの姿を通して、「光輝(かがやき)視点の保育」新領域「光輝(かがやき)」についてお伝えしてきました。今年度の「研究開発だより」はこれが最後の発行です。今回は、保護者の皆様からいただいたアンケート結果について紹介します。

幼稚園	回答数 63件	肯定的回答の割合
「光輝(かがやき)視点の保育」の活動の内容に興味がある。		94%
「光輝(かがやき)視点の保育」で子どもたちが、今まで経験したことを活かして、遊びや生活に取り入れるようになってきていると感じる。		94%
「光輝(かがやき)視点の保育」で子どもたちが、したいことを諦めずにやってみようとするようになってきていると感じる。		91%
「光輝(かがやき)視点の保育」で子どもたちが、身の回りの環境に興味をもち、自分からかかわろうとするようになってきていると感じる。		87%
小学校	回答数 307件	肯定的回答の割合
「光輝(かがやき)」の学習の内容に興味がある。		89%
「光輝(かがやき)」の学習で子どもたちに、授業で学んだことを実生活でも積極的に活用しようとしている姿が増えていると感じる。		78%
「光輝(かがやき)」の学習で子どもたちに、最後まで諦めずに挑戦する力がついていると感じる。		78%
「光輝(かがやき)」の学習で子どもたちは、よりよいものを求めて、周囲の事象や人々に関心をもち、積極的にかかわろうとする姿が増えていると感じる。		82%
中学校	回答数 84件	肯定的回答の割合
「研究開発だより」を読んで、「光輝(かがやき)」の学習に興味をもちた。		92%
「研究開発だより」を読んで、「光輝(かがやき)」の学習を見てみたいと思った。		91%
「研究開発だより」を読んで、子どもたちの活動している様子がよく伝わった。		76%

アンケートでいただいたご意見の中に、光輝を学ぶ意義についてのご質問がありましたので、下記に資料を掲載いたします。幼稚園での「光輝(かがやき)視点の保育」で育まれた素地が、小学校・中学校での新領域「光輝(かがやき)」につながっていきます。今後もわかりやすく発信できるように努めますので、よろしく願いいたします。1年間ご覧いただきありがとうございました。

光輝(かがやき)・光輝(かがやき)視点の保育の特徴や魅力

- ・幼稚園から中学校までの**学びの一貫性**
- ・学校の枠組みを超える**異校種・異学年交流**の充実
- ・自己を見つめ直し、自分自身の生き方について考えたりする活動を通して、必要な**資質・能力**を育んだりすることができる
- ・教科の枠組みにとられない、**横断的な学びや自由なカリキュラム・デザイン**
- ・子どもが自分たちで学び進める**探究的な学習**

光輝視点の保育・光輝を学ぶ意義

光輝では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動が多く含まれています。このような活動に取り組んでいると回答した子どもについては、全国学力学習状況調査いずれの教科も平均正答率が高いという結果が全国的に出ています。さらに、当時のB問題(活用)において、とりわけ顕著であったという傾向も紹介されています。また、実社会や実生活に向き合う活動が多く含まれるため、子どもたちはキャリア形成を行い、中学校卒業段階における進路選択についても主体的に取り組む姿が見られます。

光輝視点の保育では、光輝と同様な視点をもって保育を行っています。子どもたちが心動かしながら遊ぶ中で、友達と一緒に協働して取り組んだり、粘り強く取り組んだりする経験を大切にしています。そうすることで、小学校以降の価値観の違いを受け入れることや対話を通じた合意形成や問題解決の力へとつながっていきます。また、遊びの過程の中で身に付いた知識や技能を用いてさらなる遊びの追求の経験をたくさん積むことで、その経験が小学校以降の学びの素地へとつながっているのです。
(引用・参考文献「今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開 未来社会を切り拓く確かな資質・能力の育成に向けた探究的な学習の充実とカリキュラム・マネジメントの実現」)

※このスライドは、他校園に研究開発を紹介する際に使用したものです。